

令和 6 年度 就学前子どもの教育・保育についての取組状況について

1 小学校へのスムーズな就学に向ける取組

① 就学前の子どもの小学校での生活体験の促進

7月の校長会にて、「行事以外での施設見学・授業見学・授業体験・小学生との交流活動などの計画及び校区内の保育所(園)・認定こども園・幼稚園への案内、また、保育所(園)・認定こども園・幼稚園から実施希望の連絡があった場合の対応」を依頼しました。

② 保育所(園)・認定こども園・幼稚園と小学校との引継ぎについて

来年度の入学に向けて、各保育所(園)長、認定こども園長、幼稚園長、小学校長へ文書で依頼しました。

③ 移行支援訪問の実施

こども発達支援室では、保護者から相談があった児童や巡回相談の対象児童等について、子どもの特性や有効な支援等を引継ぎ、児童が学校生活をスムーズにスタートできるよう、入学予定校に移行支援訪問を行っています。

④ 5歳児発達支援事業の実施

こども発達支援室では、社会性の発達が著しくなる4～5歳の時期に、保護者や保育者等が子どもの発達の課題に早期に気づき、子どもの特性理解を深める機会とするため、市内全年中児を対象に5歳児発達支援事業を行っています。問診票や園での集団観察を通して就学を見据えた適切な支援方法の検討・実施につなげ、子どもの健やかな育成・発達の促進、就学へのスムーズな移行支援につなげています。

2 教育・保育関係職員他施設での体験等(相互交流)の実施

① 幼稚園教諭による交流体験・・・3園のべ15名が実施

	公立保育所へ	私立保育所へ	認定こども園へ	公立幼から 私立幼へ
交流体験実施人数	6	2	7	0

② 保育所(園)保育士による交流体験・・・8園のべ11名が実施

	公立幼稚園へ	認定こども園へ
交流体験実施人数	6	5

③ 認定こども園教員による交流体験・・・5園のべ16名が実施

	公立幼稚園へ	公立保育所へ	私立保育所へ
交流体験実施人数	1	9	6

④ 小学校教員の保育所(園)・認定こども園・幼稚園での保育体験・保育参観等

・17校53名の教員が、小学校の近隣や就学予定児童が在籍している保育所(園)・認定こども園・幼稚園で、保育体験・保育参観等を実施しました。

- ・就学をひかえた時期には、就学先関係者が保育参観・引継ぎを行う機会をもっています。

3 教育・保育の研修講座の実施

「幼児教育における主体的・対話的で深い学びとは
～遊びを通した学びを小学校教育につなぐ～」

講師：名古屋学芸大学ヒューマンケア学部 教授 津金 美智子さん

4 特別支援教育における支援体制整備の促進

① 巡回相談の実施

担当相談員	公立私立 保育所（園）	公立私立 認定こども園	公立私立 幼稚園
こども発達支援室 相談員	16 園	7 園	4 園
特別支援学校 相談員	4 園	1 園	なし

※それぞれ障がいの種別が異なるため、1 園で複数の相談員が巡回しているところもあります。

※こども発達支援室の巡回相談と特別支援学校の巡回相談のどちらも受けている園もありますので、実施園の合計はのべ数となっています。

② 巡回相談（相談体制）の充実

こども発達支援室の巡回相談員による巡回相談と学校教育課を通し特別支援学校の巡回相談員が行う巡回相談を実施しました。

※こども発達支援室では、支援を必要とする子どもについて観察を行い、各園の教諭・保育士への支援を行いました。また、相談の中で必要に応じて関係機関につないだり保護者との相談を実施したりしました。

※学校教育課では、支援を必要とする子どもについての観察や聞き取り、各園の教諭・保育士への支援を行いました。

③ 「CLM と個別の指導計画」の推進

こども発達支援室ではアドバイザー・CLM コーチを中心に、「CLM と個別の指導計画」の推進に努めています。

「CLM と個別の指導計画」は子どもの発達や特性に合った具体的な支援を実施するために、県立子ども心身発達医療センターが開発したツールであり、発達に課題のある子どもの早期発見・早期支援を行い、小学校への途切れのない支援につなげています。

公立私立保育所	公立私立 認定こども園	公立私立幼稚園
2 4 園	8 園	6 園